

温暖化防止うらやす

平成 30 年 11 月定例会議事録

日時: 2018 年 11 月 15 日(木) 午後 3 時～4 時 45 分 場所: 市民活動センター 会議室

議長: 川島、書記: 島野

出席者: 市坪、岡部、大西、川島、神尾、林、松村、島野 (新入会: 岡部氏信也さん)

次回定例会 日時: 1 月 17(木) 午後 3 時～午後 4 時 30 分

「場所」市役所 1 階 市民活動センター会議室

終了後 新年会を予定

I. 議事(別紙: 例会案内参照)

1) 市民活動フェスティバル

- ・温暖化防止うらやすは来場者投票“面白かったランキング”1 位となった。
- ・来場者は延べ 3600 名で昨年より若干減少
- ・来年の場所は未定(WAVE101 改修のため)

2) 市民環境意識調査アンケート経過

- ・11 月 15 日時点で、アンケート回答者は 144 名(目標 200 名、昨年実績 91 名)
- 回答者の年齢層は 60 歳以上 45%、20 代 12%、30 代 21%、40 代 11%、50 代 11%となり、昨年よりは現役層が増えている。男女比率は男 56%、女 44%、地域では中町 41%、元町、24%、新町 21%、浦安市外 14%となっている。集計、論文にまとめるなど今年度の作業も 2 月ごろまでかかる。
- 〈依頼事項〉残り 2 週間、知人、友人に回答をお願いしてほしい。また、チラシを近くの公民館に置いてほしい。

3) 市民大学オープンカレッジ

- ・日時 3 月 2 日(土)、場所 市民大学教室で開催予定。
- 講師は未定、エシカル協会代表理事 末吉里花さんをお願いをしている。

4) 31 年度事業について 助成金申請

4.1) 市民意識調査アンケート

〈補足意見〉30 年度は科学技術社会研究所から助成金が出るかは現時点で見通せない。高木基金は研究的な要素が必要でハードルが高く断念した。市の助成金も人材育成、環境保全等具体的なアクションが要求されるのでアンケート調査のようなものでは難しい。回答数も少なく、継続する意味があるのか疑問。啓発という意味で価値があるのではない。継続するなら、コストのかからない方向で検討も必要となる。

〈結論〉目的(研究、啓発...)などを再検討し、来期どうするかについては次回で審議する。市の助成金は申請しない。

4.2) イベント、環境フェア、市民活動フェスティバルを継続する。

4.3) 環境学習プログラム

環境学習プログラム分科会ではチーム作業に至らず、個人活動になってしまった。環境学習アドバイザーとして個人として市内で活動しているが、温暖化防止うらやすで情報の共有ができていない。

〈結論〉今後、勉強会などで何をしているかの紹介をしていく。

5) その他

- ・ユニフォームは個人管理とし、脱会等があっても返却はしなくてよいことにする。
- ・フェア等でデモをしている展示物などのリニューアルも検討したらどうか。市の助成金を申請できるテーマではないか。

II. 勉強会(川島)

・WWF の講演会『IPCC 1.5℃緊急報告書』発表について説明、

—1.5℃と 2℃の影響比較し大きな違いがあることを示している。

—1.5℃にとどめるためには 2030 年までに温室効果ガスを 2010 年比 45%程度、50 年には実質 0 にする必要

—有効な削減手段として BECCS(バイオエネルギーと炭酸ガスの地中回収)が有望

—各国の出されている現計画では 2℃達成もできない。COP で経過報告し 5 年おきに見直すしくみで達成に導く。

以上